

(参考様式5)

平成21年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
栃木県	那須町	愛宕	17年度～19年度	17年度～19年度
		那須東部2期	17年度～19年度	17年度～18年度
		那須北(松子)	17年度～19年度	17年度～17年度
		那須町全域	18年度～20年度	18年度～20年度

1 施策ごとの評価

(1) ソフト(那須町全域)

ア 施策の内容: 遊休農地の解消

イ 施策の実績

(コメント)
遊休農地を調査し、既存の地図情報に位置情報をリンクさせた。

ウ 施策の効果

(コメント)
遊休農地の分布や位置が把握しやすくなり、解消に向けた取組みが推進できた。

(2) ハード

① 愛宕地区

ア 施策の内容: 農道整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農道	那須町	那須町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=1,411m	平成17年度	平成19年度	平成20年4月	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (17年度) A	達成状況	
				実績値 B	達成率(%) B/A
道路工	m	1,556	1,556	1,411	90.6

ウ 施策の効果

(コメント)
農道の整備により機能が確保された農地の面積が増加した。
地権者の反対により、計画通り整備ができなかった。今後地権者と話し合いを続け、単費で整備する予定。

②那須東部2期地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	地形図作成	那須町	那須町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
60ha	平成17年度	平成17年度		

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (17年度) A	達成状況	
				実績値 B	達成率(%) B/A
地形図作成	ha	60	60	60	100

ウ 施策の効果

(コメント)
地形図を作製することにより、圃場整備事業の準備が円滑に進み、着手できた。

③那須東部2期地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農用地等集団化	栃木県土地改良事業団体連合会	那須町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
32ha	平成17年度	平成18年度		

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (17年度) A	達成状況	
				実績値 B	達成率(%) B/A
経営体育成促進換地等調整	ha	—	32	32	100

ウ 施策の効果

(コメント)
地区内の農用地の利用状況や農業経営者の意向が調査でき、圃場整備事業に着手できた。

④那須北地区

ア 施策の内容：農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(7) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農用地等集団化	栃木県土地改良事業団体連合会	那須町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
15ha	平成17年度	平成17年度		

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (17年度) A	達成状況		
				実績値 B	達成率(%) B/A	
経営体育成促進換地等調整	ha	—	15	15	100	

ウ 施策の効果

(コメント)
地区内の農用地の利用状況や農業経営者の意向が調査でき、圃場整備事業に着手できた。

2 指標の達成状況に関する評価

(1) 愛宕地区

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必 須	農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積	19ha	19ha	100%	
地 域	町振興作物への転換	2%	2.3%	115%	

(コメント)
農道の整備により、機能が確保された農地の面積が増加した。
転作田を活用した町振興作物の作付けが拡大した。

(2) 那須東部2期地区

	指 標	目標値A	実績B	B/A	備 考
必 須	基盤整備事業の着手	3年	3年	100%	
地 域					

(コメント)
地形図の作成及び、農用地の利用状況や農家の意向を調査し、圃場整備が推進できた。

(3) 那須北(松子)地区

	指 標	目標値A	実績B	B/A	備 考
必 須	基盤整備事業の着手	3年	3年	100%	
地 域					

(コメント)
農地の利用状況や農家の意向を調査し、圃場整備事業に着手できた。

(4) 那須町全域

	指 標	目標値A	実績B	B/A	備 考
必 須	遊休農地の解消等の面積	266ha	266ha	100%	
地 域					

(コメント)
遊休農地の実態把握調査を実施し、遊休農地の解消に向け取り組んだ。

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

農道整備事業により出荷に伴う荷傷みが解消され、品質の向上が図れた。また、地形図作成及び農用地等集団化事業では農用地の利用状況や農家の意向を調査し、円滑に圃場整備事業に着手することができた。

遊休農地解消事業では、農用地の現状が把握でき、解消に向け取り組むことができた。

4 総合評価

(コメント)

本計画において、指標に対する目標値はすべて達成することができた。農道整備事業については、今後町と土地改良区が維持管理していく予定である。

また、地形図作成及び、農用地等集団化事業で圃場整備事業に向け準備ができたので、今後推進をしていく。

遊休農地解消事業では、今後も解消に向けた取組みを推進していく。

(都道府県の意見)

愛宕地区を除き、計画目標を達成したことにより農業生産の基盤整備及び遊休農地の解消に向けた体制整備が図られた。やむをえず未整備となった愛宕地区の農道については、町単独事業により整備することとしており効果発現上問題ないと考えられる。